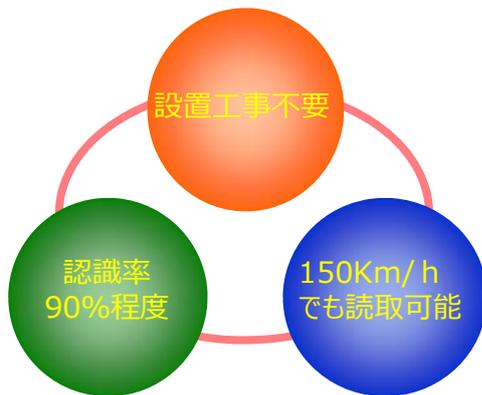


T02 | ナンプレキャッチャー

ナンプレキャッチャー（多目的車両番号認識システム）とは・・・
 車両のナンバープレートカメラで撮影して、ナンバープレートのすべての情報を自動認識し、データ化するシステムです。これまでのシステムより、以下の点で優れています。



設置工事費用ゼロ

非常に軽量でコンパクト。
 カメラは市販の三脚や車両のガラスにも取り付けが可能。
 大掛かりな設置工事は不要で、準備も短時間で済みます。

認識率90%程度

これまでの機器では70～80%だった認識率が飛躍的に向上。
 赤外線照射により夜間でも高い認識率を実現。

150Km/hでも読取可能

静止状態ではもちろん、走行中も対向車線の車両のナンバープレートも読取が可能。

★ 機器概要、設置条件、設置イメージ



ナンバープレート
情報読取

ナンバープレートのサイズ	中板:「M」、大板:「L」
ナンバープレートの色	白・黄:「W」、緑・黒:「G」
陸運支局コード (車籍地)	「福岡」「なにわ」など
分類番号	「55」「300」など
用途コード	「あ」「さ」など
一連番号	「・・・1」「1234」など

データ化



設置イメージ

○機器概要

- ▶ ノートPC内でナンバープレートの認識、データの保存、各機器の制御を行う装置です。
- ▶ 認識用カメラでナンバープレートの認識用画像を撮影します。
- ▶ 照明発光部（照明）により、暗所での認識を可能にしています。
- ▶ PC電源は大容量バッテリーやカーバッテリー等を加工し対応。

○設置条件

- ▶ 1～2m四方程度の平面が確保できること。
- ▶ 逆光が当たらないこと（逆光時はピント調整などが必要）。
- ▶ 人の立ち入れる場所であること（定期的に状況確認を行います）。

★ ナンプレキャッチャーを使用した調査のご提案

車両の起終点（流動）を把握したい	・通過時刻 ・ナンバープレートの全情報が取得できるので、正確な流動把握が可能	ナンバープレート（OD）調査
時間帯別、車種別の交通量を把握したい	・通過時刻 ・分類番号 が取得できるので可能	断面交通量調査
観光地などで、どこからの車両が多いか把握したい	・陸運支局コード（車籍地） が取得できるので可能	車籍地調査
特定車両の台数を把握したい	・用途コード が取得できるので可能	特定車両台数調査
路上、路外の駐車状況を把握したい	・撮影時刻 ・ナンバープレートの全情報が取得できるので可能 （カメラを車内に設置し巡回して撮影）	駐車状況調査

それぞれで調査するのではなく、複数の調査を兼ねられることがメリットです。

★ 現行調査との比較

	人手観測	AVI等の 既存の機械観測	ナンプレキャッチャー
調査員数	2名※1	1名（適時）	1名※1
機器使用	○（レコーダー1台）	○	○
調査項目数	△	◎	◎
データ精度	○	◎	◎
入力	音声起し+人手入力	不要	不要
警察申請	○	○	○
道路管理者へ申請	△	○	△
雨天時	△	○	×※2
設置工事	×	○	×
費用	—※3	高コスト	低コスト
実査～納品までの期間	長期間	短期間	短期間

※1 調査員数は交代要員を含みません。

※2 ナンプレキャッチャーの雨天時使用不可。

※3 人手観測の費用は調査時間、調査場所、通過交通の台数等により変動します。

★ 参考価格

	人手観測	ナンプレキャッチャー
調査員数	18名※1	6名※1
機器使用	○（レコーダー6台）	○（6台）
調査項目数	△	◎
データ精度	○	◎
入力	音声起し+人手入力	不要
警察申請	○	○
道路管理者へ申請	△	△
雨天時	△	×※2
設置工事	×	×
費用（概算）※3	150万円	110万円
実査～納品までの期間※3	4週間	約10日間

★ その他事項

○バッテリーに関して

▶大容量バッテリーを90機以上保有しているので、12h調査、24h調査でも対応可能。

○雨天時の使用

▶車載して使用することを想定して作られているため、雨天時には使用できません。

○在庫に関して

▶2016/4月現在 26台

⇒ 上り1車線、下り1車線の2車線道路場合は12断面調査可能

○その他

▶日中は光の条件（逆光等）により多少認識率が下がる場合があります。

▶片側2車線の道路の場合は中央車線側に設置が可能ですが、機器を設置できるスペースがない場合は中央寄りの車線の計測は不可。